

旅する本箱 お帰りなさいの会

令和6年(2024年)12月18日



 日本赤十字社 飯山赤十字病院
Iiyama Red Cross Hospital



飯山赤十字病院の概要

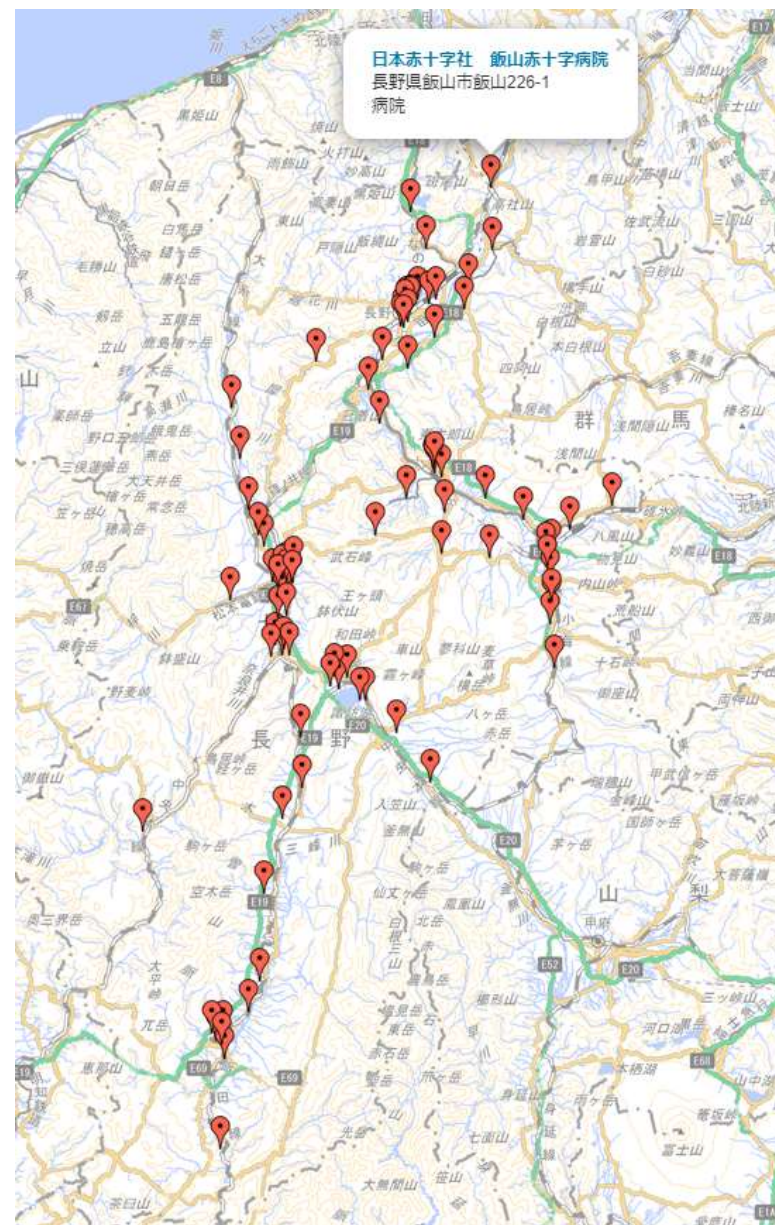
- ◆ 設立 昭和28年(1953年)12月10日(創立71年)
- ◆ 許可病床数 284床(稼働病床数 224床)
- ◆ 標榜診療科目 21科(うち、精神科・心療内科は休診中)
- ◆ 職員数 370人
- ◆ 外来患者数 76,001人/年 (314.1人/日)
- ◆ 入院患者数 69,647人/年 (190.3人/人)
- ◆ 病院の特徴

岳北地域(飯山市・木島平村・野沢温泉村・栄村)の患者さんが外来86.7%、入院89.7%

岳北地域の高齢化率40.6%(全国29.1%、長野県33.1%)

当院の入院患者の92%が70歳以上の高齢者

JR飯山駅から徒歩3分の駅前立地(旧県立高校跡地)



長野県内の医療分野の地域比較

地域名		面積	人口	高齢化率	所在病院	病床数	病床内訳
南佐久郡		767.4km ²	22,445人	38.5%	佐久穂町立千曲病院	97	一般52（急性期31、地域包括ケア21）、療養45
					JA佐久総合病院小海分院	99	一般50（急性期42、地域包括ケア8）、療養44
木曽郡		1,546.2km ²	23,980人	43.8%	県立木曽病院	197	一般174（急性期92、地域包括ケア82）、療養19、感染4
北アルプス		1,109.7km ²	54,525人	37.7%	大町市立大町総合病院	199	一般147（急性期99、地域包括ケア48）、療養48、感染4
					JAあずみ病院	324	一般204（急性期154、地域包括ケア50）、精神120
北信		1,009.5km ²	79,294人	37.2%			
	岳北	631.4km ²	27,468人	40.6%	飯山赤十字病院	284	一般240（急性期60、回復リハ60、地域包括ケア120）、療養44 地域包括ケア60床休床中　実働224床
	岳南	378.1km ²	51,826人	35.4%	JA北信総合病院	419	一般337（急性期293、地域包括ケア44）、療養38、精神40、感染4

旅する本箱の設置場所



旅する本箱 設置場所 写真



新しい本が飯山日赤にやってきました！

これらの本は、長野県内を旅していきます。皆さんの想いを本にのせて、本箱と一緒に旅しませんか？



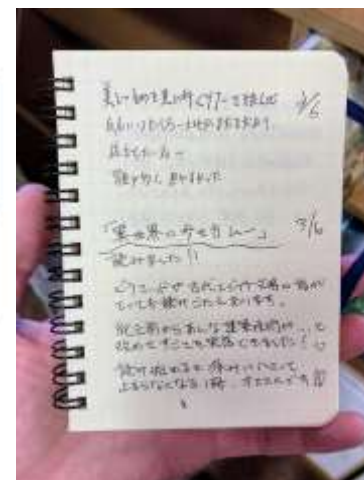
方法Ⅰ

- それぞれの本には選んだ人のメッセージを仕込む



- 読んだ人は感想やコメントを付箋に書いて貼り付ける
(透明な付箋で、文字を隠さないように
どこのコメントか判別が付きよう色分け)

方法Ⅱ



本箱のそれぞれの本には、本を選んだ人からのメッセージが書かれています。



メッセージと一緒に、本箱の本たちは、長野県内4か所を旅していきます。

本を読んだあなたのメッセージも添えることができます。

メッセージの添え方は2とおり

方法Ⅰ ノートに入っている付箋紙にメッセージを書いて、本のお好きな場所にはる

方法Ⅱ ノートに日付と感想・コメントを書き込む

本たちは、皆さんからのメッセージを楽しみにしています！

読売新聞 2024年(令和6年)4月13日(土) (第3種郵便物認可)

「旅する本箱」人つなぐ

病院や宿泊施設に 本に選定理由や感想

テーマに沿って選ばれた本を詰め込んだ「旅する本箱」が11月まで、県内各地を巡っている。県立長野図書館(長野市)と、世代や立場を超えて学び合う場を作る「ラーン・バイ・クリエイション」長野実行委員会が共同で企画したもので、読んだ人が本にメッセージを書き込んで付加価値を加え、本を紹介した対話や出会いを創り出そうとする社会実験的なプロジェクトだ。

(村上藍)

本箱のテーマは「あなたも行きたくない」も、し、一週間休みがあったら「今日、何食べよう」などの4種類。各テーマに沿った本や漫画などを新たに購入し、約20タイトルを詰め込んだ。本には、選んだ人の本紹介やメッセージが貼り付けられており、読んだ人も付箋でコメントを書き込める。

旅先は、佐久市のJR中込駅待合室、飯山市の飯山

赤十字病院、松川町のゲストハウス、フルマチ邸、白馬村の泊まれる本屋Read Publie。1月から設置を始め、約2か月ごとに本箱が4か所を移動する。飯山赤十字病院には3月8日、「懐かしい、未来」

をテーマにした本箱が届いた。外来フロアに置かれ、「クララとお日さま」(カズオ・イシグロ著)や漫画「銀河鉄道999」(松本零士著)など35冊が並ぶ。外来の患者が椅子に座り、読みふける姿も見受けられるという。

高橋功事務部長は「病院という場所に合わせて健康関連の本を置く」と堅くなりすぎる。多様なテーマで届くのはありがたい、意外な本を読むきっかけになると思う」と話す。

プロジェクトでは、人が集う場所に本が置かれることで、普段は本を読まない人や図書館に足を運ぶことが難しい人にも本を届ける。自分では選ばないジャンルの本との出会いや、本を紹介し、見知らぬ人同士が時空を超えてつながることを狙う。

県立長野図書館の森いづみ館長は「本を通して新しい出会いをつくりたい。今後、本箱のテーマや旅する場所を増やし、本に親しむ人の裾野を広げることができれば」と期待している。

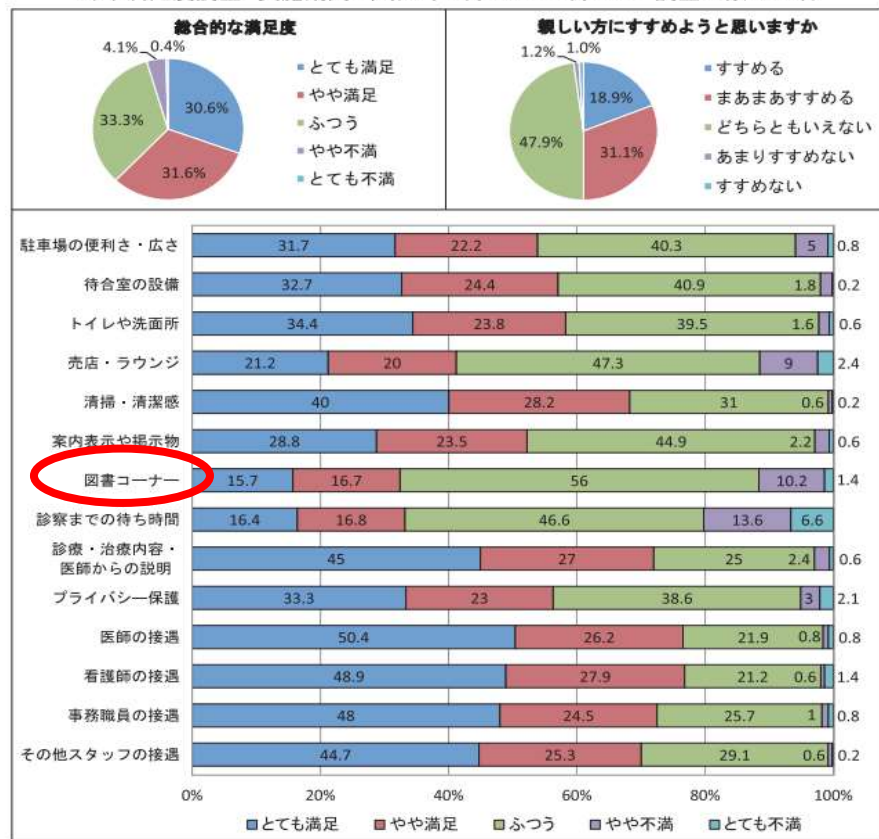
病院の外来フロアに設置された「旅する本箱」(飯山市の飯山赤十字病院で)



患者満足度調査から

外来患者満足度調査

外来満足度調査 実施期間: 令和6年 8月19日～8月30日 調査人数: 512名

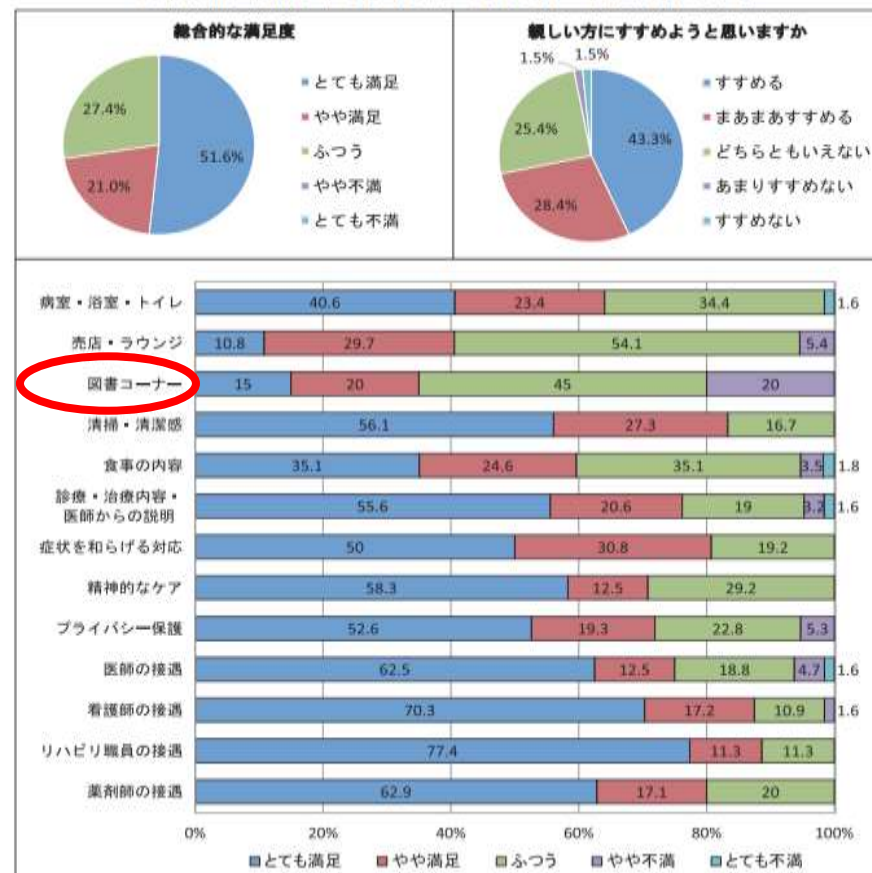


外来待ち時間調査 実施期間: 令和6年10月25日～11月1日 調査人数: 819名



入院患者満足度調査

実施期間: 令和6年8月19日～9月6日 調査人数: 67名



- ◆ 当院では、外来・入院とも図書コーナーの充実が患者さんから求められていた
- ◆ 古い書籍が多く、図書の入れ替えが行われていないため、患者満足度が低かった

- ◆ 病院外来の待ち時間に読んでもらう本 ⇒ 短時間で一定の区切りまで読める本のニーズが高い
 - 満足度調査の自由筆記欄に、雑誌や漫画本を増やしてほしいという意見が毎年あり
 - 「旅する本箱」でよく読まれていたのは、「銀河鉄道999」シリーズや写真集
- ◆ 患者の待ち時間 ⇒ スマホを見ている人が圧倒的に多い ⇒ 図書の充実と並んで無料WiFi整備の意見が多い
- ◆ 小説などの長編物は、入院患者が病室で読んでいるのか、本が戻ってくるまで5日～1週間。本箱が次の旅先に出発した後に、本が戻ってくることがあった
- ◆ 病院という性格上、本箱のテーマとして「健康」があると良かった
- ◆ 病院利用者の90%以上が高齢者なので、高齢者向けのテーマがあると良かった
- ◆ 読書の感想を書き込む「ノート」や「付箋紙」の利用が思ったより少なかった
- ◆ 「旅する本箱」の事業をきっかけにして、飯山市立図書館から除籍本をいただけるようになり、病院の本箱が充実した
- ◆ デジ図書信州が病院で使えるようになると、入院患者のサービス向上につながる